

滋賀の魅力3 快適な生活環境

びわ湖・自然の恩恵を受ける豊かな暮らし

日本一大きな湖、「琵琶湖」を真ん中に有する滋賀県は、日本全国でも屈指の「環境先進県」であり、また、多くの歴史遺産・文化遺産等が地域の中で大切に引き継がれてきました。その豊かな環境は未来を見据えた居住や創造的な活動に適した地域といえます。

プロフィール

市 町 数	13市6町
面 積	4017.36km ²
人 口	141万5,536人(H28.10.1)
人口密度	352.4人/km ²
平均年齢	44.5歳 全国3位(H27国勢調査)
1人あたりの 県民所得	3,273千円 全国4位 (H25県民経済計算)



びわ湖と共に生きる

四季折々のアウトドアやスポーツを楽しめる環境



自然豊かな滋賀県では、年間を通じて様々なアウトドアやスポーツを楽しむことができます。琵琶湖を自転車で一周する「ピワイチ」は愛好家の中でも広く認知され親しまれています。

県や市町では、より多くの方にピワイチを楽しんでいただくためコースの環境整備や観光ルートづくり等を推進しています。

買い物しやすい環境



人口10万人あたりの百貨店・総合スーパー数は2.33店で、全国2位となっています。

また、人口10万人あたりの大型小売店数は、12.52店で、全国5位となっています。

日常生活をおくる上で必要なものが身近に買い物できる環境が整っています。

上質な文化・芸術に触れることのできる環境



滋賀県には、西日本初の4面舞台を備え、自主制作オペラの公演など、日本有数の舞台芸術の拠点として国内外から高い評価を得ている県立芸術劇場びわ湖ホールがあります。



また、琵琶湖の価値を広く伝え、調査研究や資料の収集・展示・保存等を行う県立琵琶湖博物館などがあります。同館は、近年リニューアルしており、常に新しい話題を提供しています。

豊かな自然を活かした教育環境



滋賀県では、琵琶湖を中心とした豊かな自然環境を活かした、体験型の教育カリキュラムを構築しています。

船上や森林での環境学習や、田畑での農業体験、びわ湖ホールでの芸術体験学習、伝統的な窯業体験、中学生の職場体験等

発達段階に応じた様々な体験学習を通し、子どもたちの豊かな情緒を育てています。

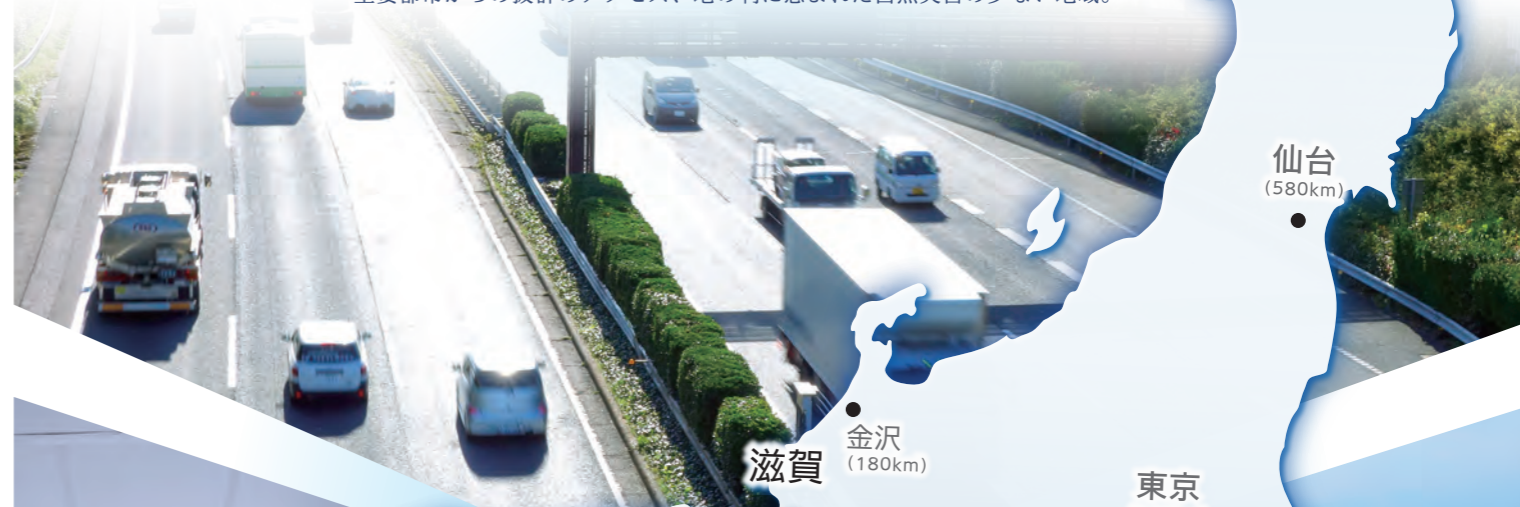
滋賀県商工観光労働部 企業誘致推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号
 Tel_077-528-3792 / Fax_077-528-4876
 E-mail_fd00050@pref.shiga.lg.jp
<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/shinsangyo/richi>

滋賀の3つの魅力

1. 東西南北を結ぶ日本のど真ん中

主要都市からの抜群のアクセス、地の利に恵まれた自然災害の少ない地域。



2. 研究開発拠点の集積

世界のモノづくりを牽引するマザー工場や研究開発施設、大学等の知的資源が集積

3. 快適な生活環境

琵琶湖の恵みを受け、緑の多い豊かな自然。未来を見据えた教育と住み心地の良さ。

滋賀の魅力1 東西南北を結ぶ日本のど真ん中

主要都市とのアクセスの良さ

滋賀県は関西・中京・北陸経済圏のクロスポイントに位置しています。国際港湾・国際空港が100km圏内に複数設置されており、それらに県内各地から90分以内で移動でき、日本で企業活動を行う上で最適な立地環境が整っています。



大津市から関西国際空港

鉄道 109km 89分
道路 107km 100分

米原市から中部国際空港

鉄道 119km 84分
道路 115km 110分

大津市から大阪港

道路 71km 61分

大津市から四日市港

道路 91km 80分

米原市から名古屋港

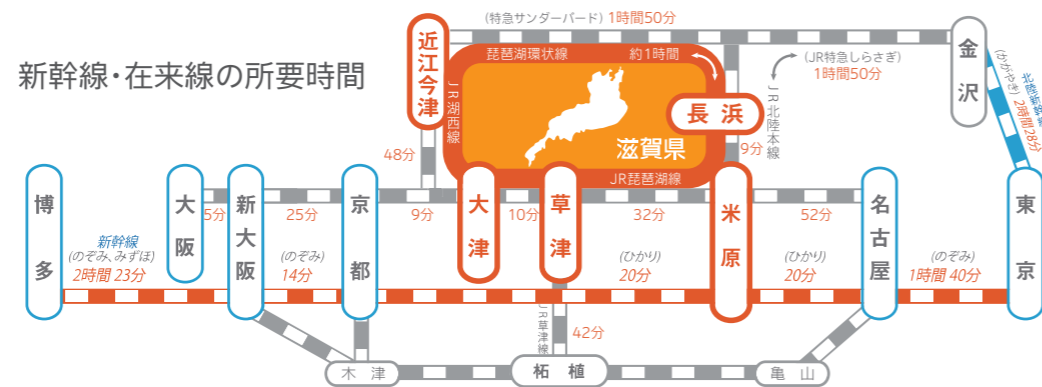
道路 91km 80分

米原市から敦賀港

道路 57km 54分

*有料道路等を利用

新幹線・在来線の所要時間



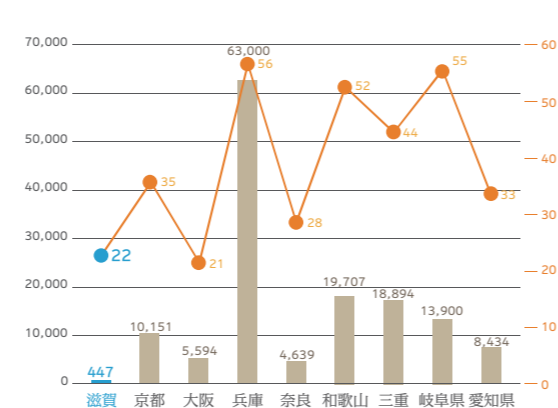
地価が安く自然災害も少ない

滋賀県は周辺地域に比べて地価が安価であり、市場の近接性や交通の利便性と相まって多くの企業様に選ばれています。さらに、2003年～2012年の過去10年間の平均年間水害被害額が全国でも最少とされ、震度4を超える地震回数も関西地域の中でも少なく、自然災害が少ない地域です。

工業地の平均価格(円/㎡) (平成28年度都道府県地価調査より)

岐阜県 20,000	和歌山県 24,300	愛知県 56,200
三重県 19,400	奈良県 37,600	京都府 64,500
滋賀県 26,400	兵庫県 48,800	大阪府 106,700

震度4以上の地震回数と過去10年間の年間水害額の平均額 (震度データベース、水害統計調査より)



滋賀の魅力2 研究開発拠点の集積

滋賀県は、琵琶湖からの豊富な水源や都市部への交通利便の優位性などを背景に多くの工業製品生産工場の集積が進み、県内総生産に占める第2次産業の比率は41%と全国1位です。(平成25年度 滋賀県民経済計算/滋賀県統計課)

近年では、日本を代表する企業のマザー工場や研究開発拠点、大学の新学部開設といった「知的資源」の集積も進んでいます。

今後は、これらの知的資源の集積をさらに進め、活かしながら製品開発で世界をリードするグローバルイノベーション拠点として機能していくことを目指しています。



大学の集積状況



滋賀13大学 学問系統別一覧 [2016年度]

大学	文学・文化学・心理学系	外国語学系	法学・政治学系	経済学・経営学・商学系	社会学・社会福祉学系	国際関係学系	食生物学・被服学・志科学系	芸術学系	教育学・教員養成系	人間科学・総合科学系	看護健康スポーツ保健学系	医学・歯学・薬学系	理学系	工学系	農学・水産学系	環境科学系
長浜バイオ大学																●
滋賀文教短期大学	●															
滋賀大学				●												
滋賀県立大学				●												
聖泉大学				●												
びわこ学院大学・短期大学部				●												
立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)				●												
滋賀医科大学												●				
龍谷大学(瀬田学舎)																
放送大学(滋賀学習センター)																
滋賀短期大学				●												
成安造形大学																
びわこ成蹊スポーツ大学																

※2017年、滋賀大学に全国初のデータサイエンス学部が誕生

滋賀県ならではの操業支援



びわ湖環境ビジネスメッセ

環境保全に貢献する「環境ビジネス」を積極的に振興するために、1998年から毎年開催。全国から約300社以上の出展があり、30,000人を超える来場者が訪れ、環境ビジネスの交流の場としても高い評価を受けています。



近江技術てんびん棒事業

近江商人がてんびん棒を担いで全国を行商したことになぞらえ、県内企業の製品や技術を県内外の大手ユーザーに向いて展示し、PRする商談会。ビジネスチャンスの拡大や商品力向上、部材調達等の機会として活用されています。



近江金石会

県内で操業されている企業の皆様と県、市町行政等との間で操業環境等について定期的に開催している情報交換会。固い友情を示す「金石の交わり」から名づけられ、"face to face" の関係づくりを行っています。